



<https://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

令和8年1月

謹んで新年のお慶びを申し上げます



西原村で就農5年目を迎えた丹生幸宏さん家族(本誌5ページで紹介)

■今号20ページ 主な内容

- 令和8年新年のご挨拶 JA阿蘇組合長 原山寅雄
- 世界農業遺産フェア／新規就農ツアー／トップセールス
- 生産各部会の検討会・査定会・出荷等の動き
- 小国郷・中部・南部地区で収穫感謝祭
- 女性部料理コンテスト
- 「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント! etc.

今号も話題と情報を満載!!

Instagram



ホームページ



VOL. 144

JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

令和8年(2026年)新年のご挨拶

『無くてはならない』 JA阿蘇を目指す



阿蘇農業協同組合
代表理事組合長 原山 寅雄



新年、明けましておめでとうございます。

皆様には輝かしい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。当組合の事業運営につきましては日頃より格別なるご協力とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年8月には、熊本県内各地において記録的な大雨の影響で、農地・農業施設等に甚大な被害が発生し、多くの組合員の皆様が厳しい状況に直面されました。被害に遭われた方に心よりお見舞いを申し上げると共に、一日も早い復興をお祈りいたします。

25年産米において、7月に初めて米集荷推進大会を開催し、全国的にも早い段階で概算金目標額を提示したことと、概算金ベースの礎を築きました。民間事業者との集荷競争が激しくなる中、取引業者との価格交渉を進め、再生産可能な金額をお支払いすることが出来ました。さらに、今年度から営農継続と経営安定を図るため、米の定価販売に向けた取り組みに努めて参ります。

農畜産物においても、トップセールスや販売促進活動に尽力し、多くの品目で前年比を上回ることができました。阿蘇ブランドの更なる拡大を展開するため、今後も高冷地栽培の強みや阿蘇地域世界農業遺産のPR活動に尽力いたします。

また、組合運営につきまして「JA阿蘇活動総合3カ年計画」を新たに策定しました。

掲げている自己改革の「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域活性化」の実現に向け、組織内の事業間連携を図り、目標達成に全力で取り組みます。

将来にわたって農家・組合員の「営農とくらし」を守るために何ができるのか、何が必要なのかを考え、今後も組合員や地域の皆様に期待され、無くてはならないJA阿蘇を目指し、一層努力して参ります。

結びに、迎えた本年が皆様にとって明るく輝かしい年でありますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。

阿蘇の伝統と未来をつなぐ農の力、を世界に

「世界農業遺産フェア」開催
更なる阿蘇の魅力を発信！



阿蘇の素材で作られた「豚汁」を販売する女性部スタッフ

J A 阿蘇営農部は10月25・26日、世界に誇る伝統的な農業の知恵と文化を紹介する「阿蘇地域世界農業遺産フェア」を開きました。フェアには多くの来場者があり、阿蘇地域の特色ある食文化に触れながら、持続可能な農業の魅力を再認識する機会となりました。

J A 阿蘇は、阿蘇地域世界農業遺産推進協会から阿蘇産農畜産物の消費拡大活動の業務委託を受けており、販促活動やPR活動を通して、阿蘇産農畜産物の消費拡大や阿蘇地域世界農業遺産の認知度向上を図っています。



青壯年部「フライドポテト」も大好評！

営農部のスタッフが焼く
あか牛サイコロステーキ

J A 阿蘇営農部は10月25・26日、世界に誇る伝統的な農業の知恵と文化を紹介する「阿蘇地域世界農業遺産フェア」を開きました。

主催した営農部の担当者は「このフェアで多くの人に阿蘇地域の農業文化を知つてもらえた。今後も更なる阿蘇の魅力を発信していくたい」と手応えを話していました。

会場では営農部が阿蘇のあか牛を使つたサイコロステーキを振る舞い、女性部による豚汁や地元商店街によるあか牛カレーなども出店。体験ブースでは、スタンプラリーや阿蘇地域振興局による世界農業遺産クイズで盛り上がりを見せました。来場者からは「地域の努力を知ることができた」「自然と共に生きる農業の大切さを感じた」などの声が寄せられました。

午後は南阿蘇村の受入協議会と協力し、南阿蘇村で有機農業に取り組む受入農家の樺島剛士さんの圃場を訪問。有機農業ならではの課題や始めた経緯、地域との関わり方など、多岐にわたる話や課題が共有されました。

午後は南阿蘇村の受入協議会と協力し、南阿蘇村で有機農業に取り組む受入農家の樺島剛士さんの圃場を訪問。有機農業ならではの課題や始めた経緯、地域との関わり方など、多岐にわたる話や課題が共有されました。

午後は南阿蘇村の受入協議会と協力し、南阿蘇村で有機農業に取り組む受入農家の樺島剛士さんの圃場を訪問。有機農業ならではの課題や始めた経緯、地域との関わり方など、多岐にわたる話や課題が共有されました。

J A 阿蘇農業師匠運営事務局
新規就農希望者を
バスツアーで現地に案内



J A 阿蘇農業師匠運営事務局は9月13日、新規就農を目指す人を対象とした現地バスツアーを阿蘇地域で開催しました。

同バスツアーは実際に就農した先輩農家を訪ね、営農における実情や地域での暮らし方について理解を深めることが目的です。当日、県内外から農業に关心を持つ7人が参加しました。

午前は阿蘇市内で新規就農者としてトマト栽培を始めて3年の緑智博さん

と、アスパラガス栽培を始めて2年の市来祐介さん・悠子さん夫妻の圃場を訪問。就農までの経緯や苦労、やりがいなどを聞きました。

J A 阿蘇中部野菜センターでは、営農部園芸課の松田浩幸課長がトマトやミニトマトが選果される工程、出荷体制などを説明。参加者は熱心に聞き入っていました。

J A 阿蘇中部野菜センターでは、営農部園芸課の松田浩幸課長がトマトやミニトマトが選果される工程、出荷体制などを説明。参加者は熱心に聞き入っていました。

松田課長は「阿蘇で活躍する若手が増えている。今後も担当職員や部会員と共に、地域で貢献していく新規就農者を支援していくたい」と抱負を語っていました。（写真上）新規就農バスツアー参加者に説明をする営農部

松田課長





イチゴ本格的出荷を前に
横浜丸中青果・東京シティ青果で
更なる販路拡大を求めるトッピングセールス



J A阿蘇は10月31日・11月1日、イチゴの本格的な出荷を前に出荷市場を訪問しトップセールスを行いました。原山寅雄組合長やいちご部会の園田賀臣部会長ら6人が、神奈川県の横浜丸中青果や東京都の東京シティ青果を訪問し、販売促進活動や出荷販売計画などを協議しました。

2025年産の生育状況は気温が高く、日照も十分あつたことでスムーズな活着となり、10月下旬に初出荷を迎え、12月中旬の出荷ピークに向か順調に進んでいます。

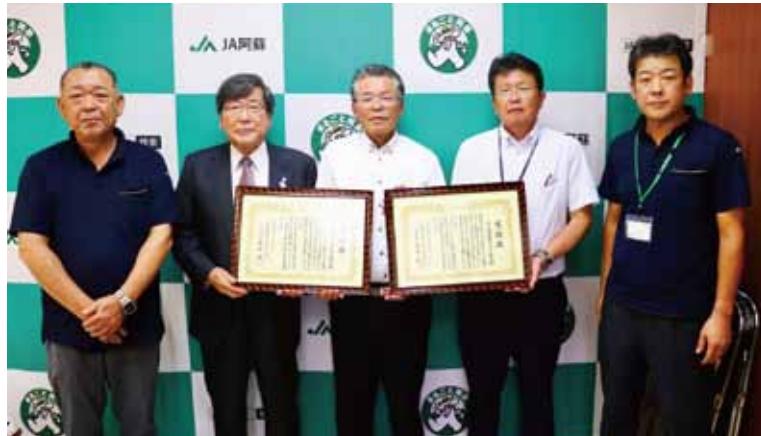
J A阿蘇は10月31日・11月1日、イチゴの本格的な出荷を前に出荷市場を訪問しトップセールスを行いました。原山寅雄組合長やいちご部会の園田賀臣部会長ら6人が、神奈川県の横浜丸中青果や東京都の東京シティ青果を訪問し、販売促進活動や出荷販売計画などを協議しました。

原山組合長は「生産者一人一人が愛情を込めて栽培している。産地の想いを理解いただき、販売に尽力してほしい」と力強く挨拶し、大消費地である首都圏や都市部市場へ更なる販路拡大を求めました。

市場関係者らは「日々の情報交換を密に行い、生産者の想いを理解し販売していく」と応えました。

J A阿蘇では今後も定期的なトッピングセールスを行い、販売力強化に尽力していく予定です。（写真上）横浜丸中青果で更なる販路拡大を求める原山組合長

トマト「りんか409」栽培15年 J A阿蘇へサカタのタネ坂田宏会長から感謝状



J A阿蘇に10月16日、(株)サカタのタネ坂田宏代表取締役会長から、同社の開発品種であるトマト「りんか409」の長年の栽培に対する感謝状が贈られました。

J A阿蘇では品種変更から15年、栽培されるトマトは「りんか409」が100%を占め、極めて重要な主力品目として定着しています。

食味の良さや安定した収量性から、25年産は販売数量4800t（前年比104%）、販売金額19億2000万円（同105%）を計画しています。

坂田会長は「りんか409をこれほど長く、そして

全面的に採用し大切に育てていただいていることに、心から感謝いたしました。

J A阿蘇の皆さまの努力が、品種の価値を高め、地域の活力を生み出してくださいました」と謝辞を述べられました。

感謝状贈呈後、坂田会長はトマト部会の齊藤孝幸部会長の圃場を訪問。品種の改良点や、市場のニーズに合わせた今後の方針などについて意見交換を行いました。齊藤部会長は「生産者一同、この品種を信じて育ててきました。感謝状を励みに、より一層品質

生や定植の遅れが懸念されましたが、25年産は高温の影響で病害虫の発生や定植の遅れが懸念されましたが、9月に入り花芽分化が進み、9月5日から定植を開始。順調な生育とな



10月下旬25年産イチゴ初出荷
販売額8億6000万円を計画

※前ページより続く



園田部会長は「イチゴは一粒一粒が完熟するまでに、丁寧な手入れが必要となる。部会員一人一人のアイデアや意見を大切にし、本年産もより品質向上を目指し、安全・安心なイチゴを皆様にお届けしたい」と意気込みを語っていました。

J A阿蘇はJ A熊本経済連が取りまとめる輸出事業に初年度から取り組み、手応えを感じています。今後も台湾向けに厳格な栽培管理を徹底し、更なる出荷を展開していく方針です。

(前ページ写真＝イチゴ選果の様子)



過去最大規模の総合展示会開催 売上4103万円で目標額達成

お洒落なデザイン、豊富な品揃え
消費者ニーズにピッタリ！



**『JAあそだより』
表紙の生産者 丹生幸宏さん**
「消費者に少しでも安全・安心で
体に良いものを食べてほしい！」

西原村で新規就農5年目を迎えた
丹生幸宏さん（39歳）。

「消費者に少しでも“安全・安心で
体に良いもの”を食べてほしい」とい
う思いから有機栽培を行っています。

無農薬・無化学肥料栽培にこだわり、
少量多品種で人参・大根・フェイジョ
アなど年間約30種類ほどの露地野菜
及び露地果樹を生産しています。

また、肥後野菜の一つであり、国
指定特定天然記念物及び絶滅危惧種
IA類に分類されている「水前寺の
り」を嘉島町に設けた養殖場で、年
間1.5～2t生産しています。

生産された水前寺のりは食用とし
て県内の料亭やホテルなどで使われ
ているほか、保湿成分として化粧品
会社にも出荷しています。

丹生さんは、J A阿蘇青壯年部西原
支部長を務めており、日頃から地域
に根差した支部活動を盟友と共に尽
力しています。

西原支部の活動は、地元の小学生
や保育園児に対して行っている食農
教育活動のほか、夏場には観光業と
タイアップしてヒマワリ畑で迷路を
作り、年末の時期になると、西原村
農道のカーブミラーの清掃を行うな
ど多方面にわたり活動をしています。



会場では話題性のある商品展示のほか、地域の特産品販売やおもちゃくじしました。

りました。

園田部会長は「イチゴは一粒一粒が完熟するまでに、丁寧な手入れが必要となる。部会員一人一人のアイデアや意見を大切にし、本年産もより品質向上を目指し、安全・安心なイチゴを皆様にお届けしたい」と意気込みを語っていました。

J A阿蘇はJ A熊本経済連が取りまとめる輸出事業に初年度から取り組み、手応えを感じています。今後も台湾向けに厳格な栽培管理を徹底し、更なる出荷を展開していく方針です。

担当の購買部職員は「今後も皆様に愛される総合展示会を目指し、出店業者と協力して、消費者ニーズに合った商品の充実をさらに図りたい」と抱負を語っていました。

コーナーなど、子どもから大人まで幅広い層が楽しめる内容を開催しました。1000人を超える人が来場し、売上金額4103万円（目標比102.5%）を達成しました。

担当の購買部職員は「今後も皆様に愛される総合展示会を目指し、出店業者と協力して、消費者ニーズに合った商品の充実をさらに図りたい」と抱負を語っていました。

**『JAあそだより』
表紙の生産者 丹生幸宏さん**
「消費者に少しでも安全・安心で
体に良いものを食べてほしい！」

**J A阿蘇いちご部会
令和7年度出荷査定会開催**



いちご部会出荷査定会の様子

J A阿蘇いちご部会は11月4日、行政・部会員・JA担当者・市場関係者らが出席し、阿蘇市で令和7年度出荷査定会を開催。部会一丸となり高品質な「阿蘇いちご」を出荷していくことを確認しました。

出荷の本格的なピークは12月中旬頃と見られており、部会では今シーズン販売金額8億円、反収5t（年内1t）を目標に掲げています。

園田賢臣部会長は「栽培意欲、技術向上を目的とし、高品質なイチゴを生産し、消費者のニーズに応えるために常に市場動向を注視し、部会一丸となって柔軟に対応していきたい」と目標達成に向けた決意を語りました。

**中部トマト部会総合検討会
市場関係17社で販売戦略協議**



中部トマト部会総合検討会の様子

J A阿蘇中部トマト部会は11月11日、熊本市で総合検討会を開催。JA熊本経済連をはじめ主要な取引市場17社の関係者が出席し、令和7年産の生産と販売状況を詳細に検討し、8年産に向けた戦略を協議しました。

斎藤部会長は冒頭の挨拶で「多くの市場関係者に参加いただき感謝申し上げます。消費者に愛される高品質な阿蘇トマトを安定供給するため、市場のニーズを直接聞き、より強い連携を築きたい」と述べ、市場関係者への感謝とともに、高品質なトマトの安定供給に向けた部会の決意を表明しました。

検討会では指導員より令和7年産の生育及び販売状況の報告があり、今作

特有の気象条件が生産に与えた影響について詳細な説明が行われました。また、販売部門から市場別及びアイテム別の具体的な販売実績が報告され、さらなる品質向上と安定的な出荷の在り方について、有意義な議論が交わされました。同部会では市場のニーズを的確に把握し、今後も部会一丸となつて、高品質な阿蘇産トマトの生産と供給体制の強化を目指す方針です。

収穫を体験した児童らは「駒打ちしてから収穫まで長い時間がかかったが、こんなにたくさん育っていて嬉しいです」「芽を切つているのがあるので今後も大事に育てたい」などの声が聞かれました。

小国郷生じたけ部会の松野英一部会長は「から作業を行い、野菜作りの苦労や農業の大切さ、収穫の喜びを味わうことはどうでもいい体験だと思う。こういった体験を通して原木シイタケの良さを広めて行きたい」と笑顔で話していました。

木下指導員は「子供たちの収穫時のうれしそうな笑顔に食育活動の大切さを改めて実感させられた」と語っていました。同部会は2月に同小3年生を対象に駒打ち体験を計画しています。



**小国郷生じたけ部会
小国小で原木生シイタケ収穫祭**



写真上=収穫をする児童／写真下=大きく育った原木生シイタケ



J A 阿蘇年金友の会
親善グラウンドゴルフ大会

山本止選手（西原支部）が優勝



J A 阿蘇年金友の会は10月11日、阿蘇市一の宮総合運動公園で「第20回親善グラウンドゴルフ大会」を開催しました。本大会は会員相互の健康増進を図り、親睦と融和を深めることを目的に毎年行われています。

今年は管内11支部から122人の会員が参加。選手たちは秋晴れの中、日頃の練習の成果を發揮し熱戦を繰り広げました。

選手らは「このような大会を通じて交流の幅が増え、健康増進にもつながる」と感想を笑顔で話していました。

競技の結果は次の通り。
△優勝＝西原支部・山本止選手
△準優勝＝小国郷支部・下城将勲選手
△3位＝産山支部・井国光選手

写真上＝表彰式の様子。中央右から
山本止さん・下城将勲さん・井国光さん

J A 阿蘇チームが準優勝
職場親善ソフトボール熊本県大会



準優勝カップを受け取るJA阿蘇チーム

試合では、多くのファインプレーがありとなりました。惜しくも決勝戦で敗れましたが、職場のコミュニケーションはもとより、出場各企業との交流を深めることができました。



準優勝のJA阿蘇チーム選手の皆さん

第16回 J A 阿蘇旗争奪
学童わんぱく野球大会
「阿蘇ドリームズ」 優勝



阿蘇ドリームズに優勝旗を贈る古澤常務

J A 阿蘇は10月5日、第16回 J A 阿蘇旗争奪学童わんぱく野球大会を一の

宮総合運動公園で開催しました。同大会は地域貢献活動の一環として実施されており、今年度は阿蘇郡市から9チームが参加しました。

開会式で古澤博保常務は「みなさん分に発揮され、最後まで頑張ってください」と挨拶。試合は順調に進み、手に汗握る熱戦の結果「阿蘇ドリームズ」が優勝し、古澤常務より賞状と優勝旗が手渡されました。

主催した共済部の職員は「子供たちの生き生きとした姿を見ることができて嬉しい。選手一人一人のがんばりに私たちもエネルギーをもらつた」と話していました。

小国郷・中部・南部の3地区で JA阿蘇収穫感謝祭

各会場 秋の実りと組合員・地域住民に感謝のイベントで盛り上がる！

JA阿蘇は11月、南部(1日)・中部(8日)・小国郷(15日)の3地区で収穫感謝祭を開催しました。感謝祭は毎年開かれ、秋の実りと組合員・地域住民に感謝を伝えることが目的です。各会場では職員によるブース出店のほかJA阿蘇女性部によるカレー、JA阿蘇青壮年部によるライドポテトブースも出店されました。

ステージイベントでは「それいけ！アンパンマンショー」や地元保育園児による和太鼓演奏などが披露され、

多くの来場者で賑わいました。

また、じゃんけん大会や福引大会も行われ、阿蘇で採れた令和7年産新米や豪華賞品が参加者にプレゼントされました。

原山寅雄組合長は「今回も役職員が一丸となって感謝祭を盛り上げることが出来た。今後も感謝祭を開催し、組合員や地域住民に日頃の感謝を伝えていきたい」と話しています。

収穫感謝祭「小国郷地区」会場の様子



収穫感謝祭「中部地区」会場の様子(次ページに続く)

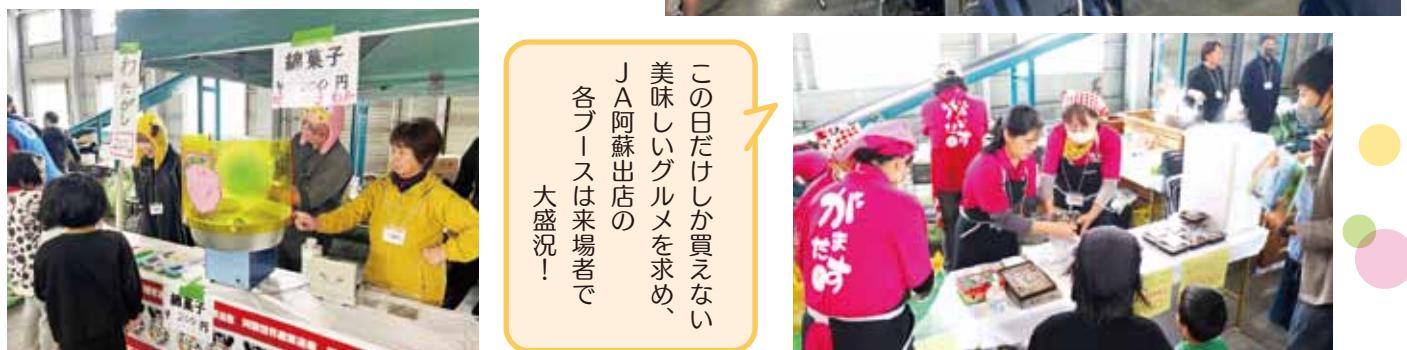




収穫感謝祭「南部地区」会場の様子



この日だけしか買えない
美味しいグルメを求め、
JA阿蘇出店の
各ブースは来場者で
大盛況！



地元農産物+JAふれあい食材で『地産地消、実践!』 JA阿蘇女性部「スタミナ料理」料理コンテスト

SDGs
最優秀賞に高森支部の
「ナスカツ」と「花見大福」

JA阿蘇女性部は10月17日、中部営農センターで第9回料理コンテストを行いました。同コンテストは、地元の農作物を使用し、地産地消運動の促進を図るとともに、JAふれあい食材の様々な活用法の共有、普及拡大を目的に毎年開催されています。今年はふれあい食材(肉・魚)を使った「スタミナ料理」をテーマに、管内7支部がアイデアを詰め込んだ献立で競い合いました。厳正な審査の結果、高森支部が考案した「ナスカツ」と「花見大福」が最優秀賞に輝きました。(作り方は次ページに紹介)

「ナスカツ」はナスの中に、トビウオのすり身・バナメイエビ・枝豆を詰めて揚げたヘルシーなスタミナ料理です。

特に魚をすり身にすることで、魚が苦手な人でも食べやすいように風味と食感に工夫がなされています。

「花見大福」は桜の塩漬けを乗せた彩り豊かなデザートで、家庭にある材料で手軽に作れることをアピール。ふれあい食材と身近な材料を組み合わせ、日々の食卓が豊かになることを提案していることが評価されました。

コンテストに参加した関係者からは「ふれあい食材の新しい使い方を発見できた」「食卓が華やかになるレシピを学べた」といった声が聞かれ、地域の食文化の継承に繋がる有意義なコンテストとなりました。JA阿蘇女性部は、今後も地域食材を活用した地産地消に取り組んでいきます。

出品者(出品支部)と料理名

阿蘇町支部

佐藤和代「ツナフレークと
ふんわり卵の押し寿司」(写真下左)
支部共作「玄米シリアルと
グラノーラのクリスピーカラム」(写真下右)



一の宮支部

岡田留里子「夏野菜を使った鮭マリネ」(写真下左)
菅美佐子「オリジナル秋バージョン」(写真下右)



西原支部

支部役員共作「赤魚の色彩りあんかけ」(写真下左)
支部役員共作「芋ようかん」(写真下右)



蘇陽支部

山辺久美子「夏野菜ピリ辛炒め」(写真下左)
支部共作「肉・エビ・野菜のあつさりスープ」(写真下右)



小国郷支部

長谷部まち子「ツナたまやき」(写真下左)
梅田 泉「豚肉のくるくる焼き」(写真下右)



南阿蘇支部

桐原夏代「チキンとえびの
最強スタミナガーリック」(写真下左)
桐原夏代「冷やし栗ぜんざい」(写真下右)





どの料理も甲乙付けがたく…
審査に迷う原山組合長ら
審査員の皆さん

最優秀賞の高森支部「ナスカツ」と「花見大福」レシピ



「ナスカツ」レシピ

☆使用した「ふれあい食材」

トビウオすり身・バナメイエビ・えだまめ

☆料理PR

魚の苦手な方でも、すり身になっているため食べやすい。



☆材料・分量(4人分)

トビウオすり身100g・木綿豆腐1/2丁・人参1/2本・えだまめ少々・なす2本・チーズ少々・パン粉・卵・小麦粉・油・にんにく醤油・塩コショウ各適宜。

作り方

- ①トビウオすり身にみじん切りの人参・粗みじん切りのえだまめ・絞った豆腐・チーズ・塩コショウ少々を混ぜる。
- ②なすは1~1.5cm幅にスライスし、にんにく醤油にくぐらせる。
- ③スライスしたなす1枚にすり身種をぬり、もう1枚ではさむ。
- ④③に小麦粉→卵→パン粉の順で衣をつけ油で揚げる。



「花見大福」レシピ

☆料理PR

さくらの花の塩漬けの出番がやっと来ました！

家にある材料で手軽にできます。

☆材料・分量(20個分)

白玉粉200g・砂糖200g・水300cc・片栗粉少々・からいも600g・茹でた栗少々・さくらの花の塩漬け。

作り方

- ①茹でた（蒸かした）からいもを漬し、砂糖50gと栗少々を加え、からいも餡を作る。20個に分けて丸めておく。
- ②白玉粉に砂糖150gと分量の水を加えて混ぜレンジで5分程加熱する。（様子を見て透明になるまで加熱する）
- ③生地ができたら20個に分け、からいも餡を包む
- ④最後に、さくらの花の塩漬けをトッピングする。



日本農業新聞の「The農家メシ」夏企画で、當農部當農企画課の谷口実優職員が執筆した新聞記事が優秀賞に輝きました。

J A阿蘇女性部員の阿南喜和子さんと女性部担当の瀬井真美さんが考案した「暑い夏を乗り切るため、阿蘇の夏野菜を使った料理作り」を取材しました。

た。記事の内容はもちろん、写真的の色合いや角度、背景とのバランスなどが評価され今回の受賞となりました。谷口さんは「今回の記事が表彰されとてもうれしく思っています。取材に協力していただいたお2人のおかげです。これからもいい記事を届けられるように頑張ります」と話していました。



日本農業新聞の夏企画「The農家メシ」 執筆の谷口実優職員 記事が優秀賞に輝く！

← 谷口実優職員表彰式の様子

↓ 日本農業新聞(2025年8月19日)掲載の「The農家メシ」記事



夏野菜の酢漬け

The農家メシ♪



熊本県南阿蘇村

J A阿蘇女性部員の阿南喜和子さん(63=南阿蘇村)と女性部を担当する南部営農センターの瀬井真美さん(61)は、夏野菜の酢漬けで猛暑を乗り切る。調理時間は漬け時間を持め約30分。暑く忙しい時期、時短でおいしいものを考案した。

収穫したてのキュウリとトマト、エーコープ商品のらっきょう酢を使う。酸味は食欲増進や疲労回復、熱

中症対策が期待でき、夏ばて防止に最適だ。

阿南さんは「シンプルな味付けで野菜本来の甘味を楽しんでほしい」と語る。

時短料理で夏ばて防止

作り方は、薄く切ったタマネギを水にさらす間に、キュウリとトマトと大葉を細かく切る。らっきょう酢を、野菜が半分漬かる程度にかけて漬けるだけ。ごま油としょうゆ、とニンニクを加えると中華風になり、おつまみとしても楽しめます。

「手間をかけずおいしく作る阿南さんの料理は女性部員の間でも好評。簡単でまねしやすい。ぜひ多くの方に作ってほしい」と瀬井さんは笑顔で語る。

(熊本・J A阿蘇=谷口実優通信員)

社会科見学で人や機械の関わり方を学ぶ 阿蘇西小3年生が中部野菜センター訪問



J A阿蘇は10月8日、社会科見学として地元の阿蘇市立阿蘇西小学校3年13人を、JA阿蘇中部野菜センターで受け入れました。これは同校の社会科及び総合的学習の一環で、作られたトマトが食卓に並ぶまでの人が機械の関わり方を学ぶことが目的です。生徒たちは、中部野菜センターで生産者から持ち込まれたトマトを、人が目で見て品質を確認する様子や機械による梱包作業を見学しました。

案内した中部営農センター園芸課の倉岡拓郎職員は「生徒たちは積極的に質問し、安全・安心なトマトが出荷されるまでの工程を理解してくれた」と感想を述べていました。(写真=生徒たちに中部野菜センターの機能を説明する倉岡職員)



**ディスプレイコンテスト県大会
小国郷購買「最優秀賞」受賞**



J A阿蘇小国郷購買課は、J A熊本経済連主催の「第16回 J A資材店舗ディスプレイコンテスト熊本県大会」で最優秀賞を受賞しました。

同大会はJ A資材店舗の活性化や売れる店づくりなど、競争力強化を促す取り組みとして毎年開催されています。小国郷購買課では商品の特徴や使い方を物語として伝える「ストーリー性のあるPOP」を工夫。さらに、立体感を持たせた演出を取り入れることで組合員の目を引くボリューム感のある売場づくりを実現しています。今回、これらの取り組みが高く評価され、受賞につながりました。

グリーンなんごうは、県下J Aで開催中の「ジューシー愛飲運動の一環として行われている「ジューシー陳列コンテスト」で優良賞を受賞しました。

J A阿蘇は11月中旬、管内5支所で地区別全体職員研修会を開催しました。コロナ流行後、Webで開催していましたが、5年ぶりに各支所で行いました。同研修会は、全職員を対象に行



**ジューシー陳列コンテスト
グリーンなんごう「優良賞」受賞**

小国郷購買課の梅木課長は「職員一人一人の工夫と努力が実を結んだ結果だと思います。これからも組合員の皆さんと一緒に『楽しく買い物ができる売場』を提供していきます」と、喜びを語っていました。(写真上)小国郷購買課の皆さん

グリーンなんごうはジューシーの魅力を最大限に引き出す売場づくりに取り組み、組合員や来店者の目を引く工夫を凝らした陳列を展開したことが今回受賞につながりました。

グリーンなんごうの田代課長は「日頃の工夫や努力が評価され、大変嬉しく思います。今後も地域に根ざした魅力ある売場づくりを続けていきたい」と受賞の感想を話していました。(写真上)グリーンなんごうの皆さん

原山寅雄組合長は「立場・役割・責任を常に意識した行動を心がけて業務にあたつてほしい」と結びました。

また、新たに策定した「カスタマーハラスマント対策基本方針」についての説明も行われ、状況把握の方法や職員の心構え、対応策を周知しました。

菜を中心としたジューシー製品を広く定着させることを目的に毎年開催されています。

動計画や個人情報管理の留意点など例を挙げながら、リスク管理の重要性を呼びかけました。

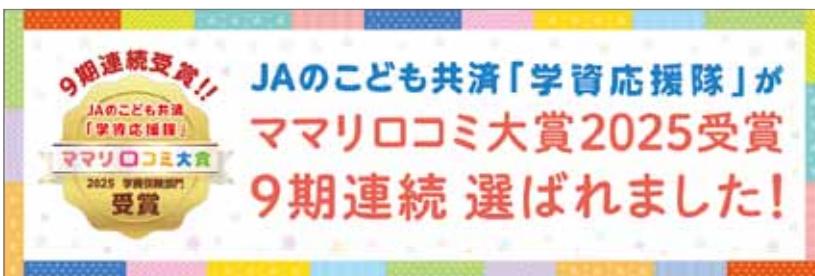
**「リスク管理の重要性」呼びかける
管内5支所で地区別全体職員研修会**



写真=地区別全体職員研修会の様子



JAのこども共済



JAの方の説明もわかりやすく、おすすめです。

将来の教育費を堅実に準備するために加入しました。

子ども3人とも、将来のためにJAのこども共済「学資応援隊」に加入しています。

支払い方法や子どもの進学時期に合わせてプランが選べるので加入しました。

貯蓄性と保障のバランスがよいので加入しました！

ママリ口コミ大賞とは…ママ向けQ&Aアプリ「ママリ」がユーザーを対象に“本当に使ってよかった”と思う商品・サービスについて、アプリ内で口コミ募集を実施し、口コミ件数と満足度を基準に支持が多かった上位商品を紹介する取り組みです。

【ご契約例】お父さま契約年齢30歳／0歳加入22歳満期／12歳払込終了／18歳学資金支払開始／共済金額100万円(基本型)／年払(口振)

◆こども共済は申込み時の金利情勢等により、お引き受けできない場合や、お払い込みいただく共済掛金が変わる場合があります。(令和7年4月時点)

払込共済掛金総額 864,888円

お受取総額 100万円

お父さま30歳

年払共済掛金 72,074円

給付率^{※1}

(給付総額÷払込共済掛金総額)

約115.6%

^{※2}
学
資
金

18歳
20
万円

19歳
20
万円

20歳
20
万円

21歳
20
万円

満期時^{※2}
20
万円

十割りもどし金

お子さまの
万
一
の
保
障

病気または災害で後遺障害のとき
100万円

病気または災害で死亡のとき

払込期間中：経過年数に応じた額
(100万円×経過年数÷払込期間)

払込終了額 100万円

学
資
応
援
隊

※1 紹介率は、上記ご契約例の場合です。ご契約者、お子さまの契約日の年齢、学資金支払開始年齢など契約内容によって異なります。

※2 学資金・満期共済金のお受取りの時期は、お子さまの誕生日ではありません。

※3 割りもどし金の額は年度ごとに変動し、経済情勢などによって0となる年度もあります。この資料は概要を説明したものです。ご契約の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

【25439990038】

お問い合わせ先

JA阿蘇 共済部
TEL: 0967-22-6120

JA共済

JA阿蘇 イラスト違い探し「凧あげ」

左右2つのイラストには、違っているところが5か所あります。

探してみてください! (出題: イラストレーター みやた みゆき)



イラスト違い探し「凧あげ」応募方法

上のイラスト5か所の違いを、官製ハガキに書いて応募してください。

正解者の中から抽選で5名様に

「熊本県産あか牛サイコロステーキ」(写真:イメージ)をプレゼントします。

応募締め切りは令和8年1月15日(当日消印有効)です。

当選者は次号のJAあそだよりで発表します。



前号「紅葉」答えとプレゼント当選者6名様



藤原 智香 様 (南阿蘇村)
竹内 和博 様 (西原村)
河津 純大 様 (小国町)
興梠みえ子 様 (熊本市)
宮田すや子 様 (南阿蘇村)
陣内亜紀子 様 (熊本市)

= 答え =

- ① お母さんの上のトンボ
- ② お父さんの口
- ③ 男の子が持っている葉っぱ
- ④ 女の子の前髪
- ⑤ 右下の葉っぱ



<p>ハガキ(表)</p> <p>8692612</p> <p>JA阿蘇 JAあそだより</p> <p>郵便番号 住所(番地までご記入ください) 電話 氏名 ご意見・ご要望 (内容によっては其面で取り上げさせていただきます) その他</p>	<p>ハガキ(裏)</p> <p>●イラスト違いの答え ① ② ③ ④ ⑤</p>
--	---

理事会・監事会報告

■令和7年度第9回理事会

日時:令和7年10月30日午後1時30分

場所:一の宮中央支所会議室

1.開会

2.組合長挨拶

3.協議事項

委員会報告(総務専門委員会)

9月末実績について

1)「JAバンク熊本冬の定期貯金キャンペーン2025」の実施について(案)

2)2025年「生活応援キャンペーン(マイカー・教育ローン)」実施に伴うキャンペーン金利の取扱いについて(案)

3)令和7年度米麦等棚卸監査回答書(案)について

4)職員退職給与規程の改正について(案)

5)阿蘇農業協同組合企業年金規約の改正について(案)

6)経理規程の改正について(案)

7)熊本県酪農業協同組合連合会への増資について(案)

8)西原給油所建物の賃貸借契約の更新について(案)

9)出資金減口について(案)

報告事項

1)マネロン・反社等への対応状況について

2)事務ミス等報告概要について

3)ATM利用状況について(令和7年9月末)

4)有価証券購入報告について

5)不祥事未然防止策内部監査実施状況報告について(令和7年7月～令和7年9月)

6)令和7年度 農政連会費・国際貿易協定対策募金について

7)令和7年産米検査実績について

8)自主検査結果について(令和7年8月)

4.閉会

■令和7年度第10回理事会

日時:令和7年11月27日午後1時30分

場所:一の宮中央支所会議室

1.開会

2.組合長挨拶

3.協議事項

委員会報告(経済専門委員会・金融共済専門委員会)

10月末実績について

1)信用手数料改定について(案)

2)固定資産委員選出について(案)

3)令和8年産特別栽培米使用農薬変更について(案)

4)年末冬季賞与について(案)

報告事項

1)県域ローンセンター媒介業務実績について(令和7年9月)

2)令和7年度 JA共済コンプライアンス点検結果および改善方針の概要について

3)組合員の加入および脱退について(令和7年9月末)

4)令和7年度 コンプライアンスプログラム進捗状況について(令和7年9月末) ↗

5)2025年度 総合展示会実績について

6)第6回 アグリノベーションフェア開催要領について

7)新まるごと阿蘇プリペイドカードについて

8)令和7年産米検査実績について

9)自主検査結果について(令和7年9月)

10)JA阿蘇活動総合3カ年計画進捗状況について(令和7年9月末)

11)有価証券購入報告について

4.閉会

■令和7年度第7回監事会

日時:令和7年10月28日午後1時30分～

場所:本所2階第一会議室

1.開会

2.挨拶

3.議題

1)令和7年度上期決算棚卸監査取りまとめについて

2)令和7年度上期決算監事監査実施手続きについて

報告事項

①常勤監事業務報告及び会議等報告について

②不祥事未然防止内部監査実施状況報告書について(令和7年7月～令和7年9月)

③みのり監査法人「期中監査②」実施計画について

④行事予定について

4.閉会

■令和7年度第8回監事会

日時:令和7年11月21日午前10時～

場所:本所2階第一会議室

1.開会

2.挨拶

3.議題

1)令和7年度上期決算監事監査取りまとめについて

4.閉会

■令和7年度第9回監事会

日時:令和7年11月27日午前10時～

場所:本所2階第一会議室

1.開会

2.挨拶

3.議題

1)令和7年度上期決算監事監査報告書(案)について

2)令和7年度導入家畜等棚卸監査実施要領(案)について

報告事項

①常勤監事業務報告及び会議等報告について

②行事予定について

4.閉会

● ● ● JA阿蘇職員異動のお知らせ ● ● ●

▶令和7年10月18日辞令

氏名	新辞令	旧辞令
大石 真美	購買部購買課購買係	阿蘇町中央支所購買課購買係(グリーンショップやまびこ)

▶令和7年12月1日辞令

氏名	新辞令	旧辞令
田上 清勝	蘇陽支所長兼購買課長	高森支所長
佐藤浩一郎	高森支所長	蘇陽支所長兼購買課長



JAバンク熊本

冬の定期貯金 キャンペーン 2025



～JAバンクから冬のほっとな贈り物～

対象期間 2025年12月1日(月) ▶ 2026年1月30日(金)

対象条件 JA窓口にて預入期間1年以上の定期貯金を
新規で30万円以上お預け入れの個人のお客様店頭表示金利に
上乗せ

年+0.2%

(税引後:年0.159%)
を適用いたします

JA阿蘇特典として

JA阿蘇で投資信託口座開設されている方・される方
を対象に

さらに

年+0.1% (税引後:年0.239%)
を上乗せいたします

※すでにJAにお預け入れいただいている定期貯金解約後の新規ご契約は、キャンペーンの対象外となります。

●ご契約いただける方は個人の方に限ります。●キャンペーン金利を適用する場合は、お預け入れ時から初回満期日までの当初預け入れ期間のみとさせていただきます。自動継続後は店頭表示金利を適用します。●金融情勢の変化等により、取扱期間中であっても適用金利の変更、または取扱いを中止する場合がございます。●中途解約された場合は、解約時のJA所定の中途解約利率を適用させていただきます。●お利息には復興特別所得税を付加した20.315%の税金がかかります。●本商品は貯金保険の対象です。同保険の範囲内で保護されます。詳細はお近くのJA窓口でご確認ください。

詳しくはお近くのJA窓口へお気軽にお問い合わせください

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| ・一の宮中央支所 (0967-22-1321) | ・阿蘇南中央支所 (0967-62-9131) |
| ・阿蘇町中央支所 (0967-32-4411) | ・小国郷中央支所 (0967-46-3211) |
| ・蘇陽支所 (0967-83-1135) | ・高森支所 (0967-62-0521) |
| ・西原支所 (096-279-3222) | ・本所 (0967-22-6128) |

2025年12月1日

表示金利の
適用期間

令和7年
12月1日

▼

令和8年
4月30日

生活応援
キャンペーン
JAネットローン
申込限定！



JA マイカーローン

固定金利型
年 **1.45～1.95%**

変動金利型
年 **1.30～1.80%**

下記の **金利引下げ条件** を必ずお読みください。



お申込みは
コチラ。

金利引下げ条件

・キャンペーン金利である固定金利1.95% 変動金利1.8%から以下の①～⑤を満たすお客様は、それぞれの条件に応じてさらに引下げを行います。

- ① 農産物販売代金・給与振込・年金振込がある方
 - ② JAカードのお申込の方・契約されている方
 - ③ JAネットバンク加入・通帳レスの方
 - ④ NISA口座開設をされる方
 - ⑤ 当JAの住宅ローンをご利用の方
- ※①～⑤で一つ該当するごとに0.1%引下げを行います。

ご注意ください

●キャンペーン金利は、JAネットローン（Web申込）で、令和7年12月1日～令和8年4月30日にお申込みいただき、令和8年5月29日までにお借入れされた場合の適用金利であり、お借入当初に適用されるものです。

なお、店頭（窓口）にてお申込みいただいた場合は、表示金利に0.2%の上乗せとなります。また、金融情勢等の変化により、本チラシの表示金利を見直しさせていただく場合があります。

●変動金利の場合、お借入れ後の利率は基準日（4月1日および10月1日）の基準金利により、年2回の見直しを行います。

※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

※店頭にて返済額の試算を承っております。

※JAマイカーローンをご利用中に、繰上返済を行う場合や返済条件を変更する場合には、別途JA所定の手数料が必要となります。

※ローン商品の詳しい内容については、店頭に説明書をご用意しております。

※ご返済の滞りなどが発生した場合には、引下げ後金利の適用を中止し、店頭標準金利に引上げさせていただきます。

JAマイカーローンの商品概要

ご利用いただける方

- 地区内に在住または在勤の方。
- お借入時の年齢が満18歳以上75歳未満であり、最終償還時の年齢が満80歳未満の方。
- 継続して安定した収入のある方。ただし、新卒内定者で、入社月の6か月前以降に借入申込みいただく場合を除く。
- 当JAが指定する保証機関の保証が受けられる方。
- その他当JAが定める条件を満たしている方。

お使いみち

- ご本人またはご家族が必要とされる次の資金（借入申込日から過去3か月以内にお支払済みの資金を含む）が対象です。ただし、営業用自動車、個人間売買に伴う資金は除きます。
- ①自動車・バイク・除雪機等（いずれも中古を含む。）のご購入資金および購入に付帯する諸費用。
 - ②自動車等の点検・車検・修理費用、保険掛金。
 - ③運転免許の取得のための資金。
 - ④カー用品（カーナビ等）のご購入資金。
 - ⑤車庫建設のための資金。
 - ⑥他社自動車ローンの借換資金（残価設定型クレジット含む）。

お借入金額

10万円以上1,000万円以内（1万円単位、所要金額の範囲内）

お借入期間

据置期間を含め6か月以上15年以内とします。
なお、据置期間は新卒内定者のみを対象とし、初回のご融資日からご融資対象者の入社前月末までの範囲内とします（最大6か月）。
ただし、お借換えの場合は、現在お借入中のローンの残存期間内とします。

ご返済方法

- 元利均等返済（月払方式またはボーナス月増額返済併用方式）

担保・保証人

- 担保：不要です。
- 保証：当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただきますので、原則、保証人は不要です。別途、保証料が必要となります。
- ・熊本県農業信用基金協会の場合
保証料：正組合員年0.51% 準組合員年0.55%
・三菱UFJニコス保証の場合 保証料：年0.79%

阿蘇南中央支所 TEL0967-62-9131

一の宮中央支所 TEL0967-22-1321

阿蘇町中央支所 TEL0967-32-4411

小国郷中央支所 TEL0967-46-3211

「JAとのお取引はこれから」というお客様もお気軽にお問い合わせ・ご相談ください。（ご利用に関しては、組合員加入のための出資が必要となります。）



令和8年1月より まるごと阿蘇プリペイドカード

新登場!!

JA阿蘇、全ての給油所で、ご利用頂けます。
既存のプリペイドが  まるカ  に変わります。

いつでも
割引価格で
給油できるよ♥



繰り返し
使えるよ♥



プリカを使えば いつでも おトク!!

繰り返し使える! キャッシュレス!!

新規発券または追加入金に応じた割引金額	
5,000円~	2円/㍑引き
10,000円~	3円/㍑引き
20,000円~	4円/㍑引き
25,000円~	5円/㍑引き

5 最大
円/㍑
引き

毎週 水曜 木曜
ガソリン
・軽油 大特価デー

毎月 20~22日は

プリカを
買うと 最大

500円
お得!

購入金額	加算額
5,000円~	100円
10,000円~	200円
15,000円~	300円
20,000円~	400円
25,000円~	500円

※購入5,000円毎に100円加算。
最大25,000円で25,500円分使用可

JA阿蘇 (まるカご利用可能店舗)

JA SS



まるごと阿蘇プリペイドカード (略称) まるカ

小国郷給油所 阿蘇町給油所 やまなみ給油所
西原給油所 久木野給油所 高森給油所
蘇陽給油所



草

原（放牧）を活用した畜産経営^{*}を行う
新規就農者を募集

就農を目指す研修生を対象に、農家の技術研修に加え、牧野組合・
畜産関係機関による放牧研修を実施し、就農までの道のりを手厚く
サポートします！

※今回は、繁殖牛及び肉用牛の経営を対象とします。

阿蘇
で

始める畜産就農

【お問合せ先】**令和7年4月1日（火）からサポート開始**

熊本県県北広域本部 阿蘇地域振興局 農業普及・振興課

[詳細はコチラ▼](#)

TEL:0967-22-0622 (新規就農関係及び畜産関係)

mail: anounoushin25@pref.kumamoto.lg.jp

